

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数
1. 理念の共有	8
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	1
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	0
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1
1. 一人ひとりの把握	0
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1470200880
法人名	社会福祉法人 いきいき福祉会
事業所名	ラポール西寺尾
訪問調査日	2014年10月20日
評価確定日	2014年12月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 26 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470200880	事業の開始年月日	平成16年1月11日
		指定年月日	平成16年1月1日
法人名	社会福祉法人いきいき福祉会		
事業所名	ラポール西寺尾		
所在地	(221-0001) 神奈川県横浜市神奈川区西寺尾 3 - 2 2 - 5		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員計	6 名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	平成26年10月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年1月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

6名1ユニットで、グループホームの中でも少人数だが、より家庭的で個別にも柔軟に対応できる環境がある。 日中は、共用型認知症対応型通所介護の利用者が日替わりで来所する。 その方々を迎え入れ、一緒に時間を過ごすことによって、6名と少ない入居者も生活にメリハリがつき、 活気のある日常を送ることができる。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成26年10月20日	評価機関 評価決定日	平成26年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●生活クラブ生活協同組合の設立20周年記念事業として、組合員7万人の資金協力のもとで1994年に設立された社会福祉法人「いきいき福祉会」が多面的に行う福祉部門の事業所の1つが、ここグループホーム「ラポール西寺尾」です。「いきいき福祉会」は、人と人とが支え合い、地域のネットワークを点から線へつなげ、更に面へと広げながら市民と共に地域に最適な福祉を創ることを目指して事業展開をしています。グループホーム西寺尾では、自宅のように自分の居場所があり、自分らしい生活が送れ、いつも誰かが傍ににいるという安心感を感じてもらえる環境を提供することを目標に掲げています。 ●グループホーム西寺尾は、JR横浜線・大口駅から約20分ほどの西北の小高い住宅地の一角にあり、目の前には西寺尾保育園、近くには錦台中学校、神之木公園等と環境に恵まれた場所に位置しています。建物は2階建て、2階部分にグループホーム、1階部分にディサービス・西寺尾が併設され、それぞれが目的に沿った事業展開をし、同一グループとして相互補完的な役割を担っています。このグループホームの特徴的な点はグループホームとしての利用者を6名、認知症デイの利用者を3名分、開設時から計画して開所している点です。昼間、リビングを使用してデーサービスの利用者を登録者の中から毎日3名まで受け入れて運営しています。入居者6名、通所3名を日常的にケアしています。この利点は、外部からの通所者と常に接触交流があり、お互いに良い刺激を得て、身体面は元よりメンタルな面での刺激により機能の維持・回復に役立っていることです。「いきいき福祉会」では利用者の自立支援のいろいろな試みに取り組み、その為のスタッフの資質向上の研修も積極的に進め、管理者を中心に日々の介護サービスに努めています。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	ラポール西寺尾
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を事務所内の職員の目の届くところに掲示し、共有している。スタッフ会議内でのケースカンファでも理念に基づき話し合いを行っている。	理念は「利用される方の自己決定と主体性を尊重し、生活全体を捉えた総合的な援助とコミュニティ（まちづくり）の視点に立った施設を目指します」です。理念は事務所内に掲示し、申し送り時、朝礼時、並びに毎月のスタッフ会議の時に、理念についての認識と確認を行い、日々の業務で実践しています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へは、法人とは別に入居者個々人にも町内会費を支払い加入していただいている。町内の行事にも出来るだけ参加している。	自治会へは利用者並びに家族の同意を得て個別で町内会に加入しています。敬老の日やお祭りなど行事がある際には、参加案内をもらい、職員、利用者と共に参加しています。ボランティアの方にマンドリン演奏に来てもらう等、地域との交流を図っています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームでの実践から共用型認知症対応型通所介護事業のご利用に繋げている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、第3金曜日と開催日を固定して開催することにより出席者に認知して頂きやすいよう配慮している。グループホームの取り組みや日々の報告に出席者から質問やアドバイスをいただいたり、出席者から地域の情報をいただいたり、お互いの意見の交換を行っている。出席者の話は、その後、職員間でも共有に努め、サービス向上に活かしている。	運営推進会議には町内会役員、民生委員、包括支援センター職員、地域代表として大家さんにも参加してもらい、2ヶ月に1回開催しています。事業所の現況報告、町内会の行事予定について話し合いを行っています。また、出席者から事業所についての質問、アドバイスをもらう等、相互の理解の場になっています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横浜市グループホーム連絡会に加入。運営推進会議に神之木地域包括支援センターの方も出席して下さっている。年に1度の日中の消防訓練には、松見町消防出張所の方に来ていただいている。	横浜市グループホーム連絡会ではブロック別に年に2〜3回勉強会を実施し、市の担当者との交流の機会になっています。また、運営推進会議には包括支援センター職員の出席もあり、その場で指導や助言をもらうなど意思の疎通も図っています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員は、身体拘束について理解しており、拘束しないケアについて取り組んでいる。玄関は、スイッチ式。リビングドアは、開閉を音で知らせるセンサー設置。	法人の方針の1つに、人権尊重の教育の強化を掲げており、教育や研修を通して、拘束しないケアに取り組んでいます。玄関のドアは防犯上の観点から夜間は施錠していますが、昼間は解錠し、玄関には人感センサーを設置し、リビングの出入りは設置した鈴が鳴るようにし、スタッフが気づくように工夫しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修及び同法人内開催の外部講師による研修に参加し、スタッフ会議内で共有している。言葉の暴力含め、虐待にならないように注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しては、スタッフ会議や日常支援の中で意識、確認している。成年後見制度の外部研修に職員が参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し、理解、納得していただくようにしている。改定等の際は、その都度説明して理解していただくようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や要望は、出来るだけ取り入れている。又、家族からの意見や要望なども家族の訪問時や運営推進会議の際に聞き取り、運営に反映させている。	利用者からは日頃の会話を通して意見等を聞くようにし、家族からは来訪時や連絡報告の電話やメールの際に意向や希望を聞くようにしています。遠方から足繁く来訪する家族からは具体的な意見や希望を聞く機会も多く、頂いた意見に関しては運営に反映させるように努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1度ある共有面接の時に意見、提案などを話し合う機会がある。	自己評価を予め提出し、本部・総務、拠点長立ち合いの共有面接を年度ごとに行ない、意見交換を行っています。最近の例では、薬の誤投薬防止策や排泄の際の二人介助法の提案があり、実践しています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人員的に厳しい状況だが、内外の研修などを受けるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修でリーダー研修、グループホーム連絡会での研修、法人内での研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	今年度は、他のグループホームとの交換研修が出来ていないが、グループホーム連絡会での勉強会には参加している。他のグループホームの記録について見学の形で勉強させてもらった。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する前にご家族から要望などを聞き取り、利用開始後も本人の困っていることに注意し、見守ることで信頼していただけるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や契約時にこれまでの生活やこれからどうい生活望んでいるかなどを聞き取り、要望に対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が何が必要と感じているかを見極め、散歩、買い物、1Fのデイなどと個別に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が出来ることは、していただいている。職員も一緒に何かをしたり、会話の中で人生の先輩として感じている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問時には、こちらの情報提供をして、それについての考えや以前の本人の様子、嗜好などの話や提案などを聞かせていただいている。通院や散歩などの協力や行事などにも参加して下さる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方から馴染みの人の情報などを伝えていただいている。 職員も本人から馴染みの人や場所など聞き出し関係性が途切れないようにしている。 例えば、散歩で家の前を通ってみたり、本人が使っていた八百屋から声をかけてもらったりなど。	元々近所に住んでいた利用者も居り、家族からの情報を踏まえながら、散歩時やドライブへ行った際に、馴染の場所の前を通ったりしています。散歩の時に店先で声を掛けてくれる方もいて、会話を楽しんでいます。理美容に関してはデイサービスの方と一緒に訪問美容師を利用しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	話が合うなどの相性も考慮して、食事やレクの席に案内しているが、孤立をしないように全員で集まり、何かをするように心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後もハガキなどでご挨拶している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人ひとりに希望を確認するように努めている。困難な場合も定期的にあセスメントを実施し、その人らしい暮らしが続けられるように検討している。	日常の言動とはと別に、センター方式を活用して一人ひとりの思いや意向を把握するようにしています。また、定期的にあセスメントを実施し、全職員で話し合うことで情報を共有しながら、その人らしい暮らしが出来るように支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前の聞き取りや普段の生活の中でこれまでの暮らし方、生活環境を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、注意深い観察と見守りをし、記録、申し送りで一人ひとりの現状を把握するようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にアセスメントを行い、本人、家族、関係者、職員等と話し合い、作成している。	利用者の日々の健康状態や介護記録を確認しながら、家族の希望、医師の診断、看護師の助言を参考にして介護計画を策定しています。利用者の健康状態や嚥食状況により都度、見直しを行い、その内容を家族にも報告し、承諾を得た上で採用しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、生活記録、アセスメントなどで個別の状況を把握し、職員間で情報を共有し、実践や介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共用型利用者との日中の方、1Fデイとの関わり方、ショートステイが生じた際の対応など柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節感のある作品作りや合唱、おしゃべり、ゲームなどで楽しまれている。 又、お祭りや作品展、外食、買い物などを楽しみ地域と関わっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携クリニック、提携医の往診、訪問歯科を受診したり、 本人や家族の希望がある場合は、そちらで受診してもらったりして、安心して医療を受けられるよう支援している。	定期往診は受けていませんが、必要に応じて提携医療機関のクリニックの往診を受けています。歯科は月2回の往診があり、口腔ケアを含めて治療を受けています。従来からのかかりつけ医の受診を希望される方もいますが、その場合は家族での対応をお願いしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	通常の場合でも口頭と記録で情報を伝えている。異常に気が付いた場合は、相談し、状態の確認をしてもらい受診や看護を受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時は、家族と連携して医療機関との情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合を早い段階から話し合うことは難しいが、段階に合わせて家族の方針を共有しながら支援している。	重度化した場合や終末期のあり方について、看取りに関しては入居時に説明を行い、また、そのような段階が近づいた際はご家族、医師、看護士と管理者、スタッフと連携を図りながら対応する方針を取っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルなどをおき、対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中想定防災訓練は、松見町消防出張所の職員にも立ち会ってもらい実施。夜間想定防災訓練は、地域(大家さん、民生委員、近隣に住んでいる家族)の協力元、実施。	年2回、うち1回は消防署立ち会いの下で夜間を想定しての防災訓練を実施しています。その際は近隣の方にも声をかけて参加してもらっています。また、地域の防災訓練の日には事業所も参加し、協力関係構築につなげています。防災設備として排煙ハッチを設備し、消火器の定期点検を実施しています。備蓄としては3日程度の食料、飲料水を確保しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	権利擁護について研修を受けた職員からスタッフ会議などで全職員に共有。 声かけには注意している。 聞こえにくい入居者もいるため、排泄の声掛けなどは大きい声になってしまうなど、難しい場合もある。	利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってのサービス提供との事業体の方針に基づき、スタッフの研修にも力を入れています。市が実施するリーダー研修にも参加し、参加者はスタッフ会議で報告し、情報の共有を図ると共に、現場での活用に活かしています。日々の行動では、笑顔と優しい言葉をモットーに業務に取り組んでいます。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人の外出、散歩、受診、入浴、買い物、食事など自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりのペースに合わせ、起床や食事、入浴、就寝など希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族と連携し、季節に合った衣類を本人が選んだり、自分で選ぶのが難しい利用者は職員が判断したりする場合がある。 ヘアカットは、希望があれば美容師が来てカットしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむことができるように歯科の往診をしている。メニューは、その日にそのシフトに入った職員が決めるため、一人ひとりの好みやその日の気候、入居者との会話なども考慮して決める。おやつは、簡単な手作りのものを織り交ぜたり、入居者の希望を聞いたりしながら提供するため、楽しみにされている様子がうかがえる。食事の準備は、難しいが、片づけや洗い物などが一緒にできるよう支援している。	生活クラブの食材を基本にスタッフが当番でメニューを工夫して調理しています。食欲等も観察しながら、体調や歯の状態も考慮して食事を提供しています。近くのファミリーレストランでの外食も楽しみの1つです。出来る限り自立した生活をとの考えから食後の片付け等も手伝ってもらっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のメニューがあらかじめ決まっていないため、体調や気候などを考慮しやすい。 又、メニューや食事量、水分量を記録して把握し、栄養バランスの良い食事を心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼食後は、横になられる方や習慣のある方は行っているが、全員までは行き届いていない。朝晩は行っている。就寝前は、義歯洗浄も行う。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを活かして定期的なトイレ誘導を行い、おむつの利用や失敗を減らしている。 又、習慣を活かしたトイレでの排泄で、自立支援に繋げている。	個々の排泄サイクルを把握した上で、タイミングを見計らった声かけをし、トイレで排泄出来るよう誘導しています。また、各居室にはトイレが設置されており、プライバシー確保と自立排泄の一助にも繋がっています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	家族、医師と連携し、トイレのタイミング、水分量、食事量、服薬などを考慮して実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調に留意して個々に応じて入浴している。 毎日、昼間、夕方など本人の希望に沿うように努め、多くの方は、2日に1度は入浴できるように支援している。	利用者の中にはお風呂が好きで毎日入浴される方もいますが、基本は2日に1回のサイクルを目安に入浴できるように支援しています。入浴拒否が強い方には、時間帯や介助者を変えたり工夫しながら支援しています。また、入浴が楽しめるように季節ごとのゆず湯、菖蒲湯などを使用し、工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は、自室にて、その方の状態や生活習慣に応じてベッドや布団で休まれる。 日中は、自室、リビング内の畳、ソファなどでその方の状態や生活習慣に応じて横になるなど休息している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、家族と連携している。 記録や連絡ノートにて変化など情報共有している。 処方箋のファイルを職員の閲覧しやすい所に設置し、2段階の薬ケースの利用や一覧表の作成などを工夫している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	縫い物、水やり、洗濯物畳み、など楽しみながらしていただいている。 歌やゲームなどを楽しまれたり、気分転換にベランダでの日光浴、散歩などできるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、デイサービス、買い物、外食など出来るだけ希望に沿って出かけられるよう支援している。 家族との外出、お祭り、作品展などにも参加している。	事業所の近くには公園やお寺もあり、天気の良い日には声かけして散歩に出かける機会をもつよう支援しています。地域包括支援センターでの作品展や行事に出かけることもあります。事業所には広いベランダもあり、日光浴や、イベント時にバーベキューを行なう等、活用して楽しんでいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望の入居者には、買い物へ出掛ける時にお財布を持ち、支払いまでできるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、希望があれば子機を使用してかけていただいている。 携帯電話を使用されている方いる。 私的な郵便物などがあれば、本人にも見ていただく。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓からの自然の光を利用し、刺激が少なく温かみのある空間になっている。 季節ごとに壁の飾りを変更したり、行事にはインテリアを工夫している。	室内は吹き抜けの高い天井と、天窓から入ってくる暖かな自然光、そして広い窓が設けられ、室内は明るくゆとりを感じることの出来る快適な空間になっています。居間の一角には畳3畳の場所が配置され、利用者の方は腰を掛けたり、昼寝したり、洗濯物を畳んだり、思い思いにそれぞれの時間を過ごしています。また、外に向かってソファが配置され外の景色を楽しむなど、利用者が居心地良く過ごせ、和めるよう工夫がされています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや畳、窓際にソファ、ベランダにイスを設置してくつろげる場所を工夫してつくっている。 又、テーブルも大小数か所に設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた好みのものを家族が持ってきている。 衣替えや植木の水やり、掃除などは、本人や家族の意向、出来る事などを考慮し、場合により職員が代行している。	居室内は高い天井とクローゼットの上に設けられたロフトで広さを感じる空間になっています。また、居室にはトイレと洗面台も完備されており、プライバシーに配慮された造りになっています。使い慣れた家具等を持ち込んでもらい自宅に近い雰囲気の中で生活できるよう配慮されています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	新聞、雑誌、TVは自由にしようしてもらっている。音楽CDやDVDなどでリラックスできるようにしている。その時々で考慮してゆっくり食事が出来るようにの席などを決めている。居室には、洗面台とトイレが個々についているので、その方に合わせて排泄のお手伝いができる。危険なものは、場合によって普段は職員が保管し、使用する際は、職員と一緒に行う。		

目 標 達 成 計 画

事業所

ラポール西寺尾

作成日

平成26年10月20日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
	21	入居者の介護度が上がってきたため、皆で楽しむことがあまり出来なくなってきた。	全体で出来ることを考える。	歌や風船バレーなどから実施していく。	3か月
	42	毎食後の口腔ケアが出来ていない。	毎食後の口腔ケアをする。	食後、洗面所へご案内する。 記録の項目を作る。	3か月
	48	入居者が出来る事の役割分担が十分に出来ていない。	ご自分の洗濯物畳みや簡単な掃除、雑巾縫いなどをしていただく。	声かけし職員も一緒にする。	3か月
	29	地域のボランティアが来られなくなった。	地域の方にボランティアとして協力していただき、入居者も地域の住民という意識を持つ。	西寺尾の丘通信などで募集を行う。	6か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。